

2013.  
8/10(土)

「新しい公共フォーラム・あいち」研究集会

# ともに支え合う地域 みんなでつくる、次世代につなぐ！

企業 教育・専門機関 行政 市民 地域組織 NPO

市民 地域組織 NPO 企業 教育・専門機関 行政

## 750名余が集ったフォーラムの第2弾。今回は“研究”です。

「今日、そして将来の地域の課題を、人任せにはできない！」

NPO、地域組織、市民、企業、行政、教育・専門機関等が集まり、  
新しい公共の実現に向けて各々の役割は何かを語り合った、今年1月のフォーラムに続く第2弾！！

今回は、各々の課題解決を力強く進めていくための「共通テーマ」に焦点を当て、  
「連携してそのテーマに取り組む方策」をみんなで見つけ出し、未来につなげる議論を行います。

### 論

点提起 10:30～11:30

本研究集会開催趣旨と、今年1月のフォーラムで議論された「地域をともに支え合う新しい公共」の内容を共有し、午後の各分科会において議論したい論点を提起し、課題を認識します。

論点提起者 浦野 愛氏 / (N)レスキューストックヤード 常務理事  
新田 泉氏 / (一財)こども財団 代表理事  
水野真由美氏 / (N)パートナーシップ・サポートセンター 協働コーディネーター  
渡部 勝氏 / (N)たすけあい名古屋 代表理事  
コーディネーター 鈴木 誠氏 / 愛知大学地域政策部 教授

### 分

科会 12:30～15:00

新しい公共を推進するための「方策」と  
「社会像」を4つの分科会で話し合います。

- A 次世代につなげていくための資源とマネジメント
- B 課題解決の近道は ネットワークづくり
- C 災害時の人災「ゼロ」社会を目指して
- D 子ども・若者・教育支援 地域円卓会議  
～子どものこころと体の発達を社会が保障する～

### 全

体共有 15:15～16:30

何が議論でき、どんな展望が見えてきたのか…。4分科会の議論を振り返りながら、各主体の役割と協働の仕組みの両面から、「ともに支え合う地域」をつくり育ていく可能性や展望を協議・共有します。

### 会場

愛知大学名古屋校舎

名古屋市中村区平池町 4-60-6

分科会の概要と  
申込書は  
裏面にあります  
申込締切: 7/31

### 交通アクセス

名古屋駅から徒歩約10分、または  
・あおなみ線「ささしまライブ駅」下車すぐ  
・近鉄「米野駅」から徒歩5分  
・名鉄バス「愛知大学前」下車すぐ

主催： 愛知県

企画・協力： 新しい公共フォーラム・あいち分科会連絡会

協力： 愛知大学・愛知大学地域政策学センター

参加費：無料 定員：全体会 200名 / 分科会 各 50名



本フォーラムは、愛知県主催「新しい公共支援事業成果普及啓発事業」の一環として、(N)ボランティアネイバーズ・(N)地域福祉サポートちたの共同事業体が受託し、運営の一部をサポートしています。



ともに支え合う地域  
みんなで作る、次世代につなぐ!

# 「新しい公共フォーラム・あいち」研究集会<8/10(土)>申込書

下記にご記入の上、FAXでお申し込みください。Eメールでお申込みの場合は、同様の内容をメール本文に記載し、件名を、「新しい公共フォーラム・あいち」研究集会申込み、としてお送りください。7/31 締切。

<b>FAX</b> : 052-961-2315		<b>E-mail</b> : npo-plaza@pref.aichi.lg.jp	
お名前		ご所属	
TEL FAX		E-mail	
午前の全体会(論点提起)のご参加		参加 / 不参加	いずれかにをつけてください。
午後の分科会の参加希望		いずれかにをつけてください。	
A : 次世代につなげていくための資源とマネジメント		B : 課題解決の近道は ネットワークづくり	
C : 災害時の人災『ゼロ』社会を目指して		D : 子ども・若者・教育支援 地域円卓会議	

お問合せ : 「新しい公共フォーラム・あいち」研究集会事務局 (愛知県県民生活部社会活動推進課内)  
あいち NPO 交流プラザ TEL 052-961-8100 (〒461-0016 名古屋市東区上堅杉町1ウィルあいち2F)

分科会の概要は、以下の通りです (12:30 ~ 15:00)	
<p><b>A 次世代につなげていくための資源とマネジメント</b></p> <p>課題解決や市民公益活動の発展に欠かせない「資金調達」「人材育成」「経営ノウハウ」をいかに充実させるのか。 次世代へつないでいける組織のあり方や、協働して取り組む方策をみなさんと考えます。</p> <p>パネリスト: 木村真樹氏 / コミュニティ・ユース・バンク momo、戸成司朗氏 / (N)中部プロボノセンター (法人申請中)、三島知斗世氏 / (N)ボランタリーネイバーズ、渡部 勝氏 / (N)たすけあい名古屋 コーディネーター: 大西光夫氏 / (N)ボランタリーネイバーズ</p> <p>【担当団体】 介護保険事業に参加した NPO 法人の愛知県連合、コミュニティ・ユース・バンク momo、(N)中部プロボノセンター (法人申請中)、(N)ボランタリーネイバーズ 【協力団体】 (一財)あいちコミュニティ財団</p>	<p><b>B 課題解決の近道は ネットワークづくり</b></p> <p>地域のつながりや、多様な主体が協働で課題解決する仕組み・方法を現在進行形の事例から学びます。 セクターを超えた人たちが集まり、協働で取り組むメリットを、参加者のみなさんとともに考えます。</p> <p>事例紹介 「PAC いちのみや」(一宮市) 「南粕谷ハウス」~コミュニティの取り組み~ (知多市) 地域交流拠点施設「街かどサロンきらり」(常滑市)</p> <p>【担当団体】 (公財)さわやか福祉財団東海ブロック (N)パートナーシップ・サポートセンター PAC いちのみや (N)マルベリークラブ中部</p>
<p><b>C 災害時の人災『ゼロ』社会を目指して</b></p> <p>東海地域では南海トラフの巨大地震や都市直下型地震、毎年多発する集中豪雨など、大きな災害が心配されています。 情報入手や周囲の人々とのコミュニケーションに不安を抱える聴覚障がい者と外国人の方々が、『情報弱者』にならない仕組みづくりを地域で進めていくために、日常から私たちにできることを考えます。</p> <p>登壇者 講師・パネリスト: 今村彩子氏 / 映像作家・「音の無い 3.11 ~ 被災地にろう者もいた~」監督、他数名 コーディネーター: 浦野愛氏 / (N)レスキューストックヤード</p> <p>【担当団体】 (N)多文化共生リソースセンター東海 (N)レスキューストックヤード</p>	<p><b>D 子ども・若者・教育支援 地域円卓会議 ~子どものこころと体の発達を社会が保障する~</b></p> <p>子ども・子育て・若者・教育に関わる組織が互いに連携や創意工夫により切磋琢磨し、公費と公費以外の制度を組み合わせることで、子ども・若者に関する社会課題に対応が可能になっていきます。待機児童対策をはじめ、さまざまな支援はこのままで良いのか、子どものこころと体の発達はどのようにしたら社会が保障できるのでしょうか。以下の流れで議論します。</p> <p>第1部 講演「子どものこころと体の発達を社会が保障する」 藤岡喜美子氏 / 内閣府「新しい公共」推進会議委員 第2部 地域ごとに分かれ、円卓型で各支援者が抱える課題についての情報を共有し、活発に意見交換を行います。</p> <p>【担当団体】 (認N)CAPNA (一財)こども財団 (N)地域福祉サポートちた</p>